

校長室だより



令和2年6月29日
校長 齋藤 瑞穂

「てまき」を合言葉に

1日の学校再開から丸4週間が過ぎました。みなさんは、「命を守る学校ルール」をよく守り、自分と友達、関わるみんなの命を考えて生活していますね。先生に言われなくてもすすんで手洗いしている人や、友達と話しながらもじょうずに距離をとって下校している人を見ると、新しいルールが身に付いてきたなあとホッとします。もちろん、どんなに気を付けて



いてもウイルスに感染してしまうことはありますが、みんながルールを守って生活していれば、「感染爆発」は防ぐことができるはず。感染爆発が防げれば、感染した人も医療関係者の人も、余裕をもって治療に集中できるので、大切な命が失われることも防げるでしょう。

ところで3年生は、この新しいルールを守るために、「てまき」を合言葉にしているそうですよ。新しいルールの中でも特に大切な3つを、覚えやすい合言葉にしているなあと感心しました。

て

ま

き



手をあらおう



マスクをつけよう



きょりをとろう

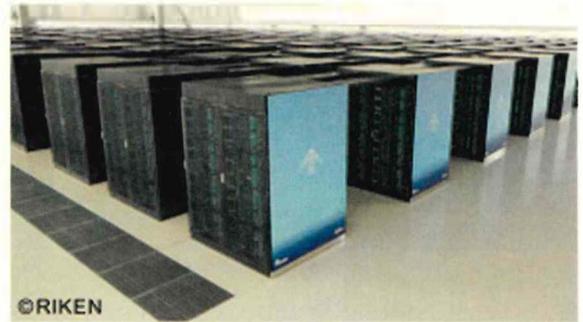
みなさんも、「てまき」でコロナウイルスに負けない生活を送りましょう。

日本のスパコン

「富岳」世界一に

6月23日、明るいニュースが届きました。

日本の研究機関と企業が開発したスーパーコンピュータ(スパコン)「富岳」が、計算速度の国際ランキングで世界一になったのです。



4冠を達成した「富岳」

「富岳」は、昨年まで稼働していたスパコン「京」(2011年計算速度世界一)の後を受け継ぐ機種として開発され、計算速度は「京」の40倍、なんと1秒間に41京5千兆(41500000000000000)回の計算ができるとか。0の数を見ただけで、どれだけ速いのかかわかるでしょう。

「富岳」は今後、薬の候補になるものを探したり、気象や未来の地球環境を予測したりと、広い分野で活用されることが期待されています。新型コロナウイルス感染症治療薬の開発でも、きっと大きな力となることでしょう。

日本の技術が世界をリードし、様々な世界規模の問題解決に役立つかと思うと、誇らしい気持ちになりますね。

保護者の皆様

学校再開からあっという間にひと月が経とうとしています。休校中の学習の遅れを取り戻すために、7月は土曜授業日を2回扱います。今週末はその1回目です。

日に日に暑さが厳しくなっていますので、子供たちの体力が心配です。学校では、エアコンで室温調整し、こまめに水分補給や汗の拭きかけを呼びかけて、熱中症対策をしています。ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ごはん」にご協力いただき、7月末の1学期終了まで、暑さに負けず元気に通学できるように励ましてください。よろしくお願いいたします。